

にとをのの違い

どちらも動作・作用の対象を表す助詞であるが、

- ① 野に行く
- ② 野を歩く



- ①は、野に行くこと自体が目的。
- ②は、野を横切り、先に進むという「先の行為」が感じられる。

にとへの違い

「に」は「へ」と入れ換えることができる。

「野へ行く」

この場合、「へ」は動作の方向を示すのみ。

- ①の「に」は、他のどこでもない「対象」を表す。

にととの違い

「昨夜先生 **に** 会いました」

「昨夜先生 **と** 会いました」

「に」は自分から相手にとっての行動を表し、

「と」は対等の立場にある相手を表す。

※この文例では、目上である先生に対等の「と」を使うのは誤用。

「晴れ **に** なりました」
「晴れ **と** なりました」

「に」はその帰結に対して自然だととらえる表現、
「と」は(例えば前日は雨が降っていたのに、今朝は晴れていたというような)結果が意外である、またあえて言うという気持ちを伴う表現である。

はとがの違い

「読書 **は** 好きです」

「読書 **が** 好きです」

「は」は物事を比較するときを使い、「趣味の一つとしての読書」という意味合いになり、
「が」は自分の好きなことを示しており、「は」より好きの度合いが強い。

また、「〇〇監督の大作映画**は**(**が**)クランクアップし、来春公開の予定だ」と言うとき、
「は」を使う場合は、相手が既にその映画のことを知っているということを前提としているが、(**が**)の場合は、相手にとっては未知の情報であることを意味する。

助詞の使い方、ニュアンスが変わる

(助詞の使い方に注意
三省堂Web Dictionaryほか参照)

よりとからの使い分けの基準

「会議は10時から(より)始めます」のように、「より」と「から」は同じ使い方がされるが、「より」は比較、「から」は(時間・場所の)起点、という使い分けをするのがよい。

- 例 「より」…「去年より売上げが増えた」「AよりBが大きい」
「から」…「9時から12時まで」「栃木から東京へ行く」

よくない例 「A社より当社と取引さすと言われました」

「A社の方から、当社が取引をすることになった」と言われたという意味が、「A社ではなくて、当社が取引相手になった」と誤読されるおそれがあるので、「から」としたほうが良い。

word memo

BCP Business Continuity Plan 事業継続計画

災害などの緊急事態が発生したときに企業が損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための計画。

ブランディング

マーケティング戦略の一つ。消費者が企業に対して抱いているイメージを企業の資産として捉え、その見えない価値を創造し、企業の価値を向上させること。



今年の冬の時期に楽しみなことが一つあります。わが家のベランダで育てているレモンの木の果実です。夏の間、いろいろな虫に葉っぱをねらわれてしまい大変でしたが、そんな枝にもしっかりレモンがなりました。収穫したレモンで料理をつくるのが楽しみです。(デザイン部 田村)

毎年10月に開催されるベスパランチに参加してきました。牛久シャトーカミヤの敷地内広場にベスパを並べバーベキューを楽しむというユルイベントです。牛久シャトーは日本初の本格的ワイン醸造場で見学や食事、買い物もできます。是非思い出に残るひとときを！

かつ昔安志 **さんぽ**
vol.18
Vespa Brunch
茨城県 牛久シャトーカミヤ



十一月歳時記

- 霜月(しもつき) …… 霜が降りる頃
- 時候の挨拶 …… 晩秋 向寒 初冬 立冬 など



酉の市 11月の酉の日に各地の神社で行われる祭礼。縁起物である熊手やかっこめで商売繁盛、開運を祈る。今年は6日・18日・30日

七五三 男子は三歳・五歳、女子は三歳・七歳になる年の11月15日、神社にお参りする。

こたつ開き 亥(い)の日は火難を逃れるとされることから旧暦10月の亥の日にこたつを出すといふ。今年は8日・20日

二十四節気

- 立冬 7日(火) 暦の上での冬の始まり。時雨が降ったり止んだりを繰り返して、冬へと近づく

七十二候

- 【山椿開】「つばき、はじめてひらく」 実際は、山茶花(さざんか)の花
- 【地始凍】「ち、はじめてこおる」 朝、霜や霜柱が見られることも
- 【金盞香】「さんせんか、さく」 金盞は、黄色の冠を付けた水仙のこと

- 小雪 22日(水) 山に雪が降り始める頃。時折、暖かい小春日和が訪れる

七十二候

- 【虹蔵不見】「にじ、かくれてみえず」 空気が乾燥し、日差しが弱まると虹が見られない
- 【朔風払葉】「きたかぜ、このはをほうらう」 朝は北を表し、朔風は木枯らしのこと
- 【橘始黄】「たちばな、はじめてきばむ」 橘は日本に自生する唯一の柑橘

